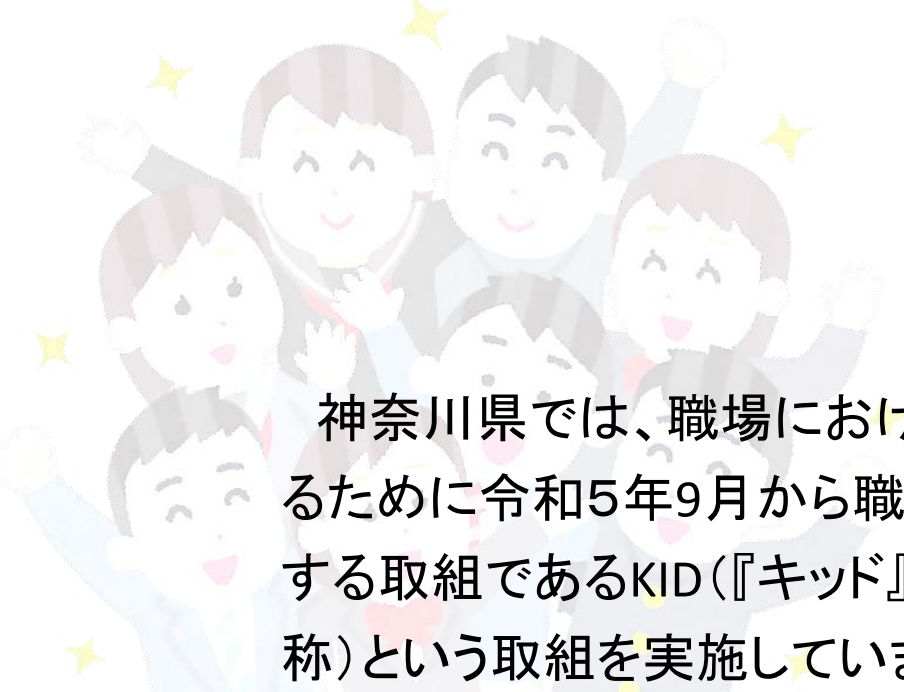


職場における子育て支援の取組みについて ～KID（子ども・アイテム・ドライブの取組み）～

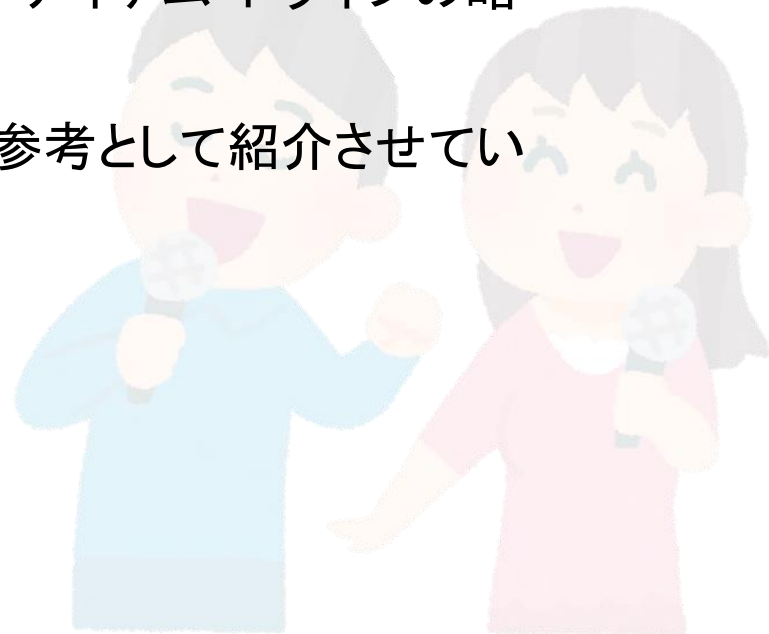
神奈川県福祉子どもみらい局
子どもみらい部次世代育成課

1 はじめに



神奈川県では、職場における子育て支援の取組みを推進するために令和5年9月から職員間で子ども用品を無償で譲渡する取組であるKID(『キッド』子ども・アイテム・ドライブの略称)という取組を実施しています。

企業の皆様にも、企業内の取組の参考として紹介させていただきます。



2 KID(子ども・アイテム・ドライブ)とは

○ 概要

KIDとは、子どもの成長に伴い利用しなくなった子ども用品等を所持している家庭が、必要としている家庭に無償で譲渡する仕組みです。

〈神奈川県庁における具体的な譲渡方法〉

イントラネットの掲示板を使用し、利用しなくなった子ども用品等を所持している職員が物品の写真や特徴を掲示板に掲載し、子ども用品を必要とする方が直接連絡を取り個人間でやり取りを行い譲渡します。



3 KID(子ども・アイテム・ドライブ)の県の実施方法

①事務局

- イン트라ネットに掲示版を作成

②子ども用品を譲る人

- 掲示版に子ども用品を掲載

③子ども用品をもらいたい人

- 掲示版の掲載情報を確認

④子ども用品をもらいたい人

- 掲載者に連絡

⑤子ども用品を譲る人・
もらいたい人

- 受け渡し場所や日時の調整

- 物品譲渡完了！

3 KID(子ども・アイテム・ドライブ)の県の実施方法

イントラネットに記載する項目

項目	掲載例
分類	衣類
品目	Tシャツ(90cm)
アイテムの状態	若干の使用感あり
受取方法	執務室にて受け渡し
保管期限	令和7年3月末まで
備考	〇〇のキャラがプリントされているTシャツです。●歳のお子さん向けです
画像	



4 KID(子ども・アイテム・ドライブ)の成果

実施期間: 令和5年10月～

利用者の声

本来捨ててしまうであろうものが、他に必要とされている方に届くシステムはとても良いと思う。



写真が掲載されていたり、商品の説明があって分かりやすかった。

区分	掲載数	うち取引成立数
出品数	200品	171品
投稿者数	のべ117名	のべ105名

(令和6年9月4日現在)

5 KID(子ども・アイテム・ドライブ)導入方法の例

KID 運用方法の例

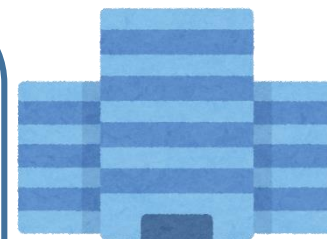
【イントラネットを有する企業】(オンラインによる手法)

- ・社員が用いるイントラネットに特設ページ(譲りたい子ども用品を掲載)を作成する。



【イントラネットを有しない企業】(オフラインによる手法)

- ・社員が一堂に会するイベントの際に子ども用品を譲渡するためのブースを設置する
- ・事業所内に子ども用品を譲渡するための常設のブースを設置する
- ・子育てに関する座談会等を実施した際に、併せて子ども用品の譲渡する



6 他企業の事例

株式会社ランクアップ

- ・子育て社員に向けた施策「育児プラットフォーム」イベント育児グッズのリユースマーケット第2弾を開催



▲「育児用品社内リユースマーケット」第1弾の様子

第1弾参加者の声

- ・「使わなくなった育児用品の対処に困っていたので、必要な人に譲ることでとても助かった。」
- ・SDGsとして社内交流としても、ピッタリの企画 等



参加者及び育児用品提供者が引き続き、イベントに関わりたいスキームになっている。

(参考 URL) [https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000183.000009540.html](https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000183.000009540.html)

7 まとめ 導入の効果等

- ①子ども用品のリユース
- ②比較的費用をかけずに社員の福利厚生を向上できる
- ③社員同士のつながりの創出(育児に関する情報交換の場の創出)
- ④職場内における子育て世帯への理解の増進



- ・県ではKIDの取組を実施した企業を県HPで紹介します
- ・KIDの運営に関するアドバイス等をお伝えします。